

学校便り上美生

第8号



～学力を考える～

芽室町立上美生小学校 校長 織茂 竜二郎

冬の厳しさを、肌で感じることができる季節になってきました。初雪は遅れましたが、今年も忘れずに冬は訪れるのだと、外の雪を観て感じているところです。季節の変わり目は体調を崩しやすくなりがちですので、児童の体調の変化には敏感にならなければと考えています。

さて、先般のマスコミ報道や町広報誌等で、4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について周知されたところです。本校の状況については、別掲にある通りです。全国に比べると、北海道（特に小学校）は、やや点数は伸び悩んでいます。残念ながらこの傾向は、調査開始以来ずっと同じように続いている。要因としては、様々なことが挙げられます。「家庭学習の時間」「読書量」「基本的な生活習慣」「家庭環境」「学校の教育力」等々ありますが、どれか1つだけが原因ではなく、複合的な要因があると考えられます。私は、学力は“自分への厳しさ”的バロメーターのようだと考えています。誰にとっても、自由に好きなことだけをすることに比べて、学習に向かうことはつらくて嫌なことははずです。あえて自分を律して学習に向き合っているかが、学力として表出するのです。もちろん、もって生まれた才能も関係なくはないですが、大切なのは“努力する姿勢”です。そして、その努力するエネルギーを培うのは、“大人の背中”的な気がします。日々の生活する中で、周囲の大人たちが真面目で根気強く生きる姿を見せてることで、育つ能力だと信じています。

よく学力や学歴は社会に出て関係ない、要は人間性だと話す大人がいますが、はたしてそうでしょうか。もちろん学力だけでは人は測れませんが、学習に対して真剣に取り組む経験こそが、社会に出たときに必ず遭遇する壁にしっかりと向き合い、それを克服するための力を養うものと思っています。勉強の先にある結果に固執せず、その努力の過程を認めてあげることも大切にしたいですね。

あと1ヶ月で、平成30年も終わろうとしています。来年は元号も変わり、再来年には東京オリンピック開催と、社会そのものも変化の激しい時を迎えるのかもしれません。今の子どもたちが大人になる時の社会が、今よりも暮らしやすさを実感できるようにする責務を私たち大人は負っています。子どもたちが夢を抱き、夢を追いかけることのできる環境作りを、地域・保護者と学校が連携して取り組んでいくことはとても大切になっています。

次号では、この“連携”を充実させるための手立てとしてのCS（コミュニティ・スクール）構想について、詳しく書く予定です。

12月の行事予定

知・徳・体 調和のある子ども
学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる。

- 3日（月）安全点検 分掌部会
- 4日（火）地域祖父母公開参観日
- 5日（水）PTA教養部会
- 6日（木）朝会 児童会 移動図書
- 7日（金）町児童生徒作品展（～12日）
- 10日（月）学校運営地域協力者会議
- 12日（水）評価業務（午前授業）
町P連文教懇談会
- 13日（木）朝会（表彰）
- 14日（金）まるごと給食
- 17日（月）清掃強化週間
- 18日（火）防犯教室
- 20日（木）クラブ
- 23日（日）天皇誕生日
- 24日（月）振替休日
- 25日（火）クリスマス集会
- 26日（水）2学期終業式

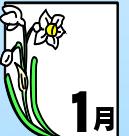


学校教育目標

- よく学び、よく考える子ども
- なかよくし、助け合う子ども
- 進んで取り組み、やりぬく子ども
- いつも明るく元気な子ども

【1月の主な行事】

- 1日（火）元日
- 14日（月）成人の日
- 21日（月）3学期始業式
- 22日（火）2計測週間
- 24日（木）児童会
- 28日（月）育成会雪山体験学習
- 29日（火）集団下校訓練 CRT
- 30日（水）CRT
- 31日（木）スケート記録会



読み聞かせ



朝会のない木曜日の朝、「図書ボランティアの方々がご来校ください、低学年を中心に「読みきかせ」をしてくださっています。子どもたちのために、いつもありがとうございます！

町議との懇談会

11月26日（月）19時より上美生小学校の図書室において、町議との懇談会が開催されました。小中PTAより17人の参加者と町議さん5人とで、予定していた2時間ぎりぎりまで、説明・質問・議論など、活発な話し合いがなされました。

お忙しい中に
もかかわらず、
参加してくださ
ったみなさん、
本当にありがと
うございました。



編集後記 教頭 三寺康裕

いよいよ12月です。毎年恒例の「今年の漢字」みなさんはどう予想されますか？流行語大賞にノミネートされている数々の言葉たちを見てみて、早くも今年を思い返しているところです。

個人的な今年の漢字は「美」でしょうか…。上美生にお世話になり、季節ごとの景色の美しさや夜空の壮大な美しさにも圧倒されています。子どもたちや保護者・地域のみなさんの純粋な「美しさ」にも日々感銘をうけています。

「平成最後」の年の暮れも、健康だからこそ感じることのできる「美しさ」を日々いろいろなところから学べるように、“走り”続けていきたいと思っています。



上美生地域 收穫感恩節祭

